

八朔祭

伝統の技と魂
「大造り物」

平成26年度
山都町文化遺産保存活用事業実行委員会
〔八朔祭実行委員会〕



日向往還宿場町

八朔祭 はままち Map

日向往還

「日向」の起源はともかく、
中世に豪族・阿蘇氏が福岡「浜」の船を
森川のはとりに（現・天部高校）に
構えたこと由来します。
阿蘇氏は肥後全土に勢力をふるい、
日向時代には日向往還の宿場町として人も集まり、
物資の集散地として
県下有数の賑わいを誇りました。



1 【金毘羅（こんぴら）さん】
寛政年間、備前屋（現・通商酒造※）野尻清丸氏が寄進した神社。
山頂には天部郡石門町重元による榊葉地蔵が安置されている。
毎年7月24日に新開の住氏がこの榊葉地蔵を出開帳し、盛大な舞行を行う。
山頂は秋の紅葉の名所であり、日向地蔵が見渡せる。

2 【妙見（みよけん）さん】
「備前大明神」の東のお手洗い場として、
また造り酒屋の仕込み水としても使われていた湧水場。
国指定天然記念物「妙見の大水ヤキ※」があったが、
平成15年1月惜しくも台風のため倒伏。
しかし、なんと倒れた巨木は現在も生きており、
葉が茂っている。

3 【福王寺（ふくおうじ）】
阿蘇氏の菩提寺。天台宗で文長5年（828年）に般若法師が創建。
阿蘇氏の位牌がある。おそらく門内で最も古い歴史の建物。
山門が石橋のようなアーチ型でとてもユニーク。

3 【福王寺（ふくおうじ）】
阿蘇氏の菩提寺。天台宗で文長5年（828年）に般若法師が創建。
阿蘇氏の位牌がある。おそらく門内で最も古い歴史の建物。
山門が石橋のようなアーチ型でとてもユニーク。

4 【浜町橋（はままちばし）】
通商橋より古く、天保4年（1833年）
岩米三五郎によって架橋。
現在の橋は旧橋の上に補強および拡張してあるが、
170年以上前の橋はなお現役である。

5 【小一領（こいちりょう）神社】
寛仁2年（1010年）、阿蘇大宮司友仲の創建。初めは「備前大明神」と言われていたが、
天文10年（1541年）十三歳の阿蘇千代丸（推挙）が出現に際し、戦勝を祈願して小さな御一領を寄進し、
勝戦したことから神号を「小一領神社」と改められた。秋になると境内の大水ヤキが緑色に輝き始める。
（一部台帳で例代）。近年は「恋（こい）ちりょう」神社とも呼ばれ、地域内外の人びとに親しまれている。

6 【浜の館（はまのやかた）】
承元元年（1207年）、阿蘇大宮司重光がここに居館を構え、約400年間阿蘇氏の栄華の中心地だった。
戦国末、島津氏に攻められた阿蘇惟光、推善の幼い孫は、宝物を館内の庭園に隠めて、
山中に逃げたと伝えられる。昭和49年、県立天部高校の校舎改装で発掘調査が行われ、
知の館の遺構が数百年ぶりの姿を現し、宝物の金の延べ板、白磁の置物、三彩水柱など
21点を発見、世を驚かせた。県重要文化財に指定され県立発掘館に保管されている。

- 金管・レス・ピアノ・喫茶店
- 旅館・ホテル
- コーヒー・スイーツ・パン
- 寄贈
- ★ ナイロ管業のちた